



誤万引き歴で中学生の自殺、どう思います？

広島県の中学生が昨年自殺。担任に一年の時の万引き記録を理由に推薦できないと云われたと云う。

ネットでは「していいなかったら、そう云え」等、心ない情報が飛び交っている。

生徒を向いていない

店から「万引きした生徒がいる」と連絡を受けた職員が教員にその氏名を伝えた。同姓の別の生徒だったのに、自殺した生徒の記録に万引き歴をインプット。

こんな話が来たら、担任はその生徒に「本当か？」じっくり話さなければならぬ。話せば他の生徒ということはすぐ分かる。そして、万引きした生徒とじっくり話し、立ち直るよう時間をかけて導かなければならぬ。

しかし、実際に教員に求められているのは校長への報告書、校長は教委への報告書。生徒を指導する前にきれいな事を並べた報告書を作らなければならぬ。結局、沢山の報告事項の一つに過ぎなかったのだ。

管理ばかりの「教育」

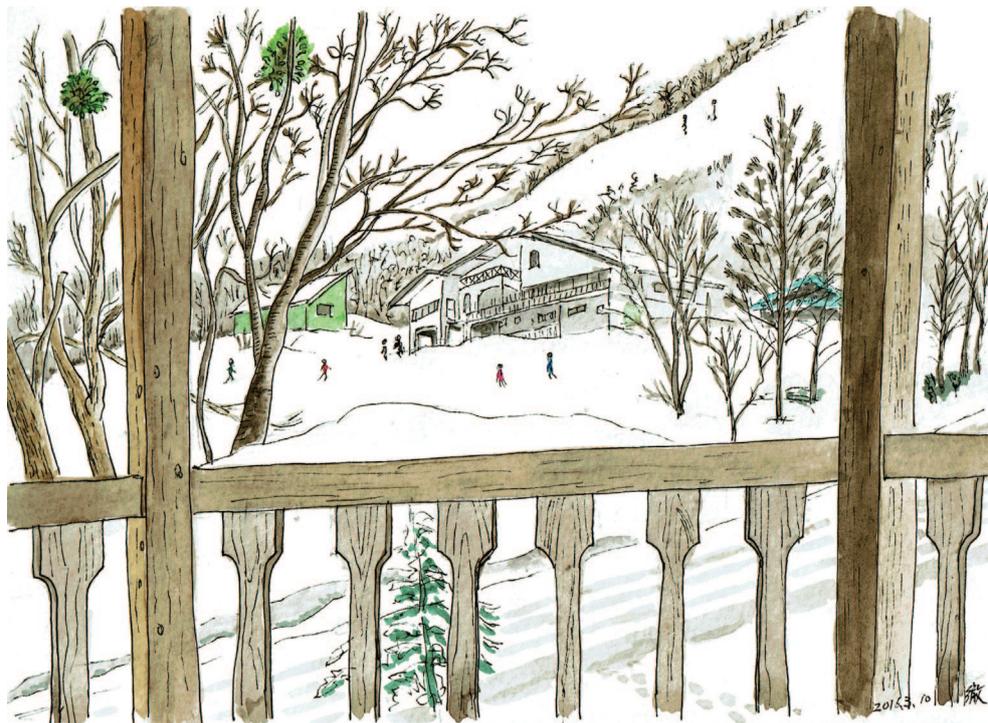
校則で生徒をしぼる。政治活動参加を学校に届けると云う所もある。これでは自分の意見を自由に発言することもできない。生徒の意見には間違いもある。それも含めて、教員は受け止め、指導しなければならぬ。

真摯に自分の云う事を受け止めてくれるのでなければ、生徒が何も言えないのは当然ではないか？
みなさんはどう思われますか？

梅池親の原ゲレンデ

長野県小谷村梅池
ペンション こりえんて から

二〇一六年三月



昨年暮れは雪が少なかったそうだ。しかし、今は、例年より雪は少ないが、スキーは何とか。

頂部から、一気に下まで滑り、いつものカフェに行った。水曜日でお客の少ない日だった。白馬八方尾根でペンションをやっているという夫婦がカフェの夫婦と話している。

「円安だから海外から沢山来ると思ったのね。年末の雪不足がツイッターで広まったのか、来ないねえ」

「円安だから『日本の賃金では安くて・・・』とオーストラリアのアルバイトも来ない。どうしようもないよ」とこぼしていた。

遅い朝食をとりながら、ペンション「こりえんて」から親の原ゲレンデを眺めると、既に若者達がスキーやスノーボードを始めていた。

